



photo by Yosuke Tanizawa

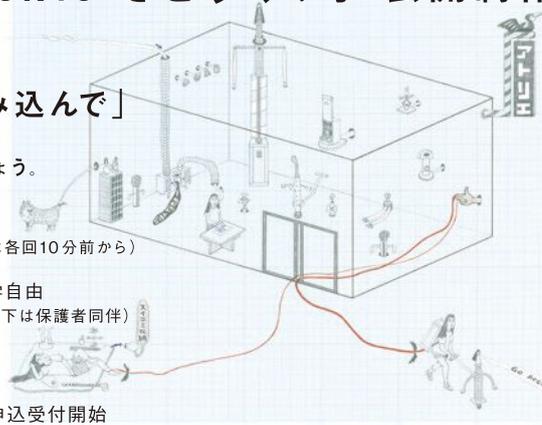
関連プログラム①
ワークショップ

「くみ子作品」を呑み込んで

さとうさんの作品に手を加えて、新しい作品に変身させてみましょう。

日時=4月26日(日)
●13:15~14:30 (受付は各回10分前から)
●15:00~16:15

定員=各回4名(要事前申込)、見学自由
対象=小学生以上(小学校4年生以下は保護者同伴)
講師=さとうくみ子
会場=アトリエ 参加費=無料
申込方法=3月26日(金) 当館Webサイトにて申込受付開始



アーティストはどうやって作品を作り出していくのだろうか? どんな人が作っているのだろうか? 作っている時何を考えているのだろうか? 完成した作品を美術館で鑑賞するだけではわからないアートが生まれる瞬間を体験できたり、時には参加することができるのがアーティスト・イン・ミュージアム(AiM)。美術館の中にアーティストのアトリエが出現します!

岐阜県美術館長 日比野克彦

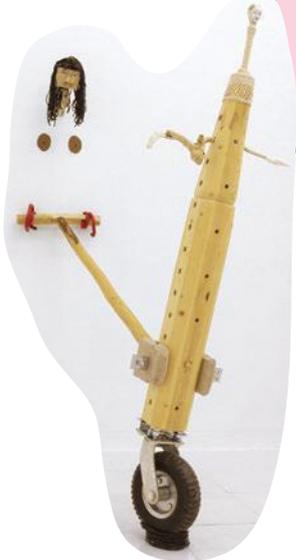
関連プログラム②
アーティストトーク

寺内曜子(美術家) × さとうくみ子

大学院在学時の恩師である寺内さんをお招きし、さとうさんの作品の魅力を掘り下げます。

日時=5月16日(土)
14:00~15:00 (受付13:45~)

定員=先着30名
対象=どなたでも
出演=寺内曜子、さとうくみ子
会場=アトリエ
参加費=無料
申込方法=事前申込不要



日常の中のささやかな引っかかりや高鳴りが私の制作のはじまりです。

今回はアトリエを飛び出し岐阜県美術館の敷地内を漫遊する。

作品で遊んでるかもしれないし
ドローイングを描いてるかもしれない
ピクニックをしてるかもしれないし
ただボーッとしてるかもしれない

私にとって作品が出来るまでの大切な時間。

私が台風目になり、まわりの人、モノが巻き込まれてきたらいつもとは違う出来事が起こるかもしれない。

SATUKIKO SATUKIKO 公開制作

さとうくみ子

2026年4月9日(木)から5月24日(日)

開場時間▶10:00から18:00まで

夜間開館日▶4月17日(金)、5月15日(金)は20:00まで

休館日▶月曜日(ただし、5月4日(祝)は開館、5月7日(木)は休館)

さとうくみ子▶1990年 岐阜県可児市生まれ。2020年 愛知県立芸術大学 大学院 美術研究科修士課程 油画・版画領域修了。2024年 TOKYO MIDTOWN AWARD 2024 アートコンペ グランプリ。遊ぶようにつくりながら得られる閃きを核に、段ボールなどの身の周りにあるモノの魅力を最大限に引き出し、ユニークな作品を発表。近年の主な展覧会に、2021年 個展「ハッピーセット」アトラボあいち(名古屋)、2023年「味/処」神奈川県民ホールギャラリー(横浜)、2024年 BankART Life7「UrbanNesting: 再び都市に棲む」BankART Station(横浜)、個展「歯の脱皮」ギャラリー ヴァルール ISSHA(名古屋)など。



【交通案内】

- 公共交通機関ご利用の場合
 - ・JR 東海道本線 西岐阜駅 南口から徒歩(約15分)
 - ・岐阜バス(鏡島市橋線) JR 岐阜駅前 [6番乗場] または名鉄岐阜駅前 [1番乗場] から「市橋」行きに乗車(約15分)⇒「県美術館」下車
 - ・岐阜市コミュニティバス
 - ①西ぎふ・くるくるバス(1日7便、市橋地区循環) JR 西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路約30分)⇒「県図書館・美術館」下車
 - ②すまいるバス(1日9便、三里・本荘地区循環)⇒「県図書館・美術館」または「県美術館北」下車
- タクシーご利用の場合
 - ・JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅前から乗車(約10分)
 - ・JR 西岐阜駅から乗車(約5分)
- 自家用車ご利用の場合
 - ・名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進 約10km
 - ・東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進 約10km
 - ・東海環状自動車道 岐阜ICから県庁方面へ県道77号線を南進 約10km

* 期間中、アーティスト不在の場合がございます。
* 掲載内容は2026年2月末時点の情報です。
* 最新情報は、岐阜県美術館 Webサイトにてご確認ください。

岐阜県美術館 THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

